

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：笠置町

<p>重点目標</p>	<p>財政改善策の一環として従前より人件費の削減を実施してきましたが、諸制度の地方への権限委譲による影響も重なり、職員数が減ることによる事務量の増加を軽減しなければ公務を執行することが厳しい状況となっています。</p> <p>そこで、現在の職員数が活かされつつも、更なる行財政運営の健全化を目標に、業務体制の見直し・効率化を図る。</p>		
<p>事業群</p>	<p>構成事業名</p>		
<p>行財政改革推進事業</p>	<p>相楽郡東部3町村広域連携業務</p> <p>庁舎内LAN整備事業</p>		
<p>事業群全体による 成果の概要</p>	<p>笠置町では平成18年3月に集中改革プランを策定し、計画上全体職員数を当時（平成17年4月1日）51人から平成22年度には10%減となる5人の削減を目標としました。その目標も平成18年度末で既に6人減として達成しており、更には平成19年度末で1人の削減となっています。その中で以前と同様もしくはそれ以上の事務量が変わらず存在しており、その分を現在の職員数でこなしている状況です。</p> <p>そこで、職員の事務の負担を軽減すべく、事務の効率化を図るための事業展開をし、また職員の自主努力がおおいに手伝った結果、職員の時間外勤務手当は平成18年度決算額8,278千円から平成19年度の7,962千円（見込）とほぼ同額となったものです。</p> <p>職員に係る人件費が平成17年度の340,441千円から平成19年度（見込）の297,456千円となっていることから、職員数削減による財政健全化効果が活かされています。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	<p>成果指標</p>	<p>実績値</p>	
	<p>指標式等</p>		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。